

京都産業大学と京都商工会議所との包括連携協定の締結について

1. 趣旨

グローバル化やDXの進展など大きな社会変革の波が押し寄せ、人々の価値観が多様化する中、これまで以上に迅速かつ柔軟に対応できる人材の重要性が高まっている。また企業においても、少子高齢化が進む中、付加価値の源泉である人材の確保・育成が、事業を継続・発展させるうえで喫緊の経営課題となっている。

京都に目を向けると、多くの大学が集積し、学生が人口の約一割を占めるなど、非常に恵まれた環境にあるが、そのポテンシャルを十分に活かしきれていない。大学の知見はもとより、次代を支える学生の活力を取り込むことによって、京都の更なる活性化を図ることが求められている。

こうした様々な社会課題に対応した地域社会を築いていくため、総合大学として多様な人材を輩出してきた京都産業大学と、地域経済の活性化を担う京都商工会議所が包括連携協定を締結し、これからの京都産業を支える人材の育成に協働して取り組むこととする。

2. 主な連携事項

- (1) 産業人材の育成・キャリア形成に関する事項
- (2) 地域教育・研究の振興に関する事項
- (3) 京都企業の人材確保に関する事項
- (4) 地域振興・地域経済の活性化に関する事項
- (5) その他、目的の達成に必要なことに関する事項

3. 締結期間

協定の締結日より2年間

4. 具体的な連携事業

○産学連携による産業人材の育成

ビジネスにおけるデジタル化の進展に伴い、経営のマネジメントスキルの重要性が増す中、日商簿記検定試験を活用した「会計人材」教育の推進を協働で取り組み、経営的視点を持った人材を育成する。

- ・全国初、定期試験に日商簿記検定試験を導入
(経営学部の専門科目の定期試験として日商簿記検定試験3級を受験)
- ・京都産業大学が附属高校と高大連携し7年間で取り組む「会計人材」教育への支援
(附属高校に対して日商簿記検定の受験料を一部助成)

○次代を担うアントレプレナーの育成・支援

多様化する社会課題の解決に、起業家精神を持って行動する人材が求められる中、経済界と連携し、一拠点総合大学の強みである各学部リソースを活用した起業家プログラムの提供や起業家精神の涵養、事業化に向けた協業の場づくりなどに取り組む。

- ・学内授業やセミナーへの先輩起業家等の派遣
- ・各種創業支援メニューを活用した経営支援員による伴走支援
- ・「京商イブニングピッチ」等によるVCや大手企業等とのマッチングの場づくり

○日本文化の理解増進による地域振興等の推進

地方創生の時代を迎え、文化を基軸とした産業振興やまちづくり、国際交流の促進に貢献する人材を育成するために、日本文化が息づく京都を学びの対象とした様々な取り組みを推進する。

- ・「京都・観光文化検定」1級合格者 特別客員研究員の受け入れ
- ・「京都・観光文化検定」を活用した日本文化の理解増進とフィールドワークの推進

○京都企業等と学生のマッチング支援

次代を担う学生の京都企業への就職を促すことを目的に、優れた技術やサービスなど企業の魅力を実感することができる機会や情報を提供するなど、学生と企業をつなぐ橋渡しとなる取り組みを実施する。

- ・学内就職説明会への京都商工会議所会員企業の参加
- ・京都商工会議所会員企業と大学「進路・就職支援センター」との情報交換

○京都産業大学と京都商工会議所との交流促進

講師や専門家の相互派遣や、大学の授業等を通じて京都商工会議所の事業活動を紹介するなど、大学職員・学生と会議所職員との交流を促進して連携強化を図る。